

豊岡市地域コミュニティビジョン（素案）に関する意見募集（パブリックコメント）の結果と回答（案）について

1 意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間 : 2019（令和元）年8月25日（日）～10月9日（水）
- (2) 公表資料の閲覧方法
 - ① 豊岡市ホームページでの閲覧
 - ② 文書閲覧
 - (ア) コミュニティ政策課
 - (イ) 各振興局地域振興課
 - (ウ) 各コミュニティセンター
 - ③ 地域コミュニティビジョン地域説明会での終了時アンケート（記述欄）
- (3) 意見の応募件数 : 27件

2 意見の概要と意見に対する考え方・回答（※市の考え方を示す必要がないと判断したものについては空欄としています）

No.	主な意見の概要	市の考え方（案）
1	市レベルでの問題と、コミュニティレベルでの問題は明確に分けて考えるべきでは？（例えば防災に関しては、あくまで市が主導する等）。役割・担当・責任の範囲があいまいで優先順位、取捨選択が決めづらい。（何の制限もなく、コミュニティだけで決めてもいいの？）	市（行政）の問題（役割）と、地域コミュニティの問題（役割）を明確に分けることはできません。地域コミュニティは市（行政）と住民が対等な関係に立ち、連携・協働して地域課題の解決や地域づくりを行う仕組みです。地区の実情や課題によって、役割・担当・責任は異なるため、連携をしながら取り組むことが重要です。
2	何もしないより何かする。10年後を見通して第一歩、組織づくりが大切ということに共感しました。	
3	行政の立場から課題と考えられる分野、コミュニティに取り組んでほしい将来像をビジョンとして共有することは必要。その中で、各地区が自分たちの地区の色を描いていける（引き出す）工夫が必要。そこに光を当てながら多くの人を巻き込まないといけないし、多くの人が携わらないと地域づくりにならないと思います。	ご意見のとおりです。

4	女性、子どもの意見が反映されにくい。子ども会、子どもの育成に関することがコミュニティでもっと考えていただけたらよいと思います。	これまで反映されにくかった女性や子どもたち等多様な主体の意見を反映できる仕組みが地域コミュニティであり、ご指摘いただいたことはそのとおりだと考えます。
5	それぞれの行政区の現状の中で、コミュニティ組織の必要性や重要性が認識されにくいと考える。同じコミュニティの行政区の中でも人口規模、地理的な状況、年齢構成も異なり、共通の考え方が導き出せないことが多いのではないかと。目的の意義を伝えていくこと、人材の育成（リーダーとなる）が重要と考えます。	ご意見のとおりです。
6	現実の諸問題（課題）をしっかりと直視して、具体的な取り組み例が表されています。人口減少（少子化）のため、できなくなった祭事などを行政区を超えて実施するなど、現実的な取り組みとなっていますが、「～ができなくなる」というマイナスのイメージが全面に出ているような気がします。子どもを増やす施策、アイデアなどはコミュニティには不向きなのでしょうか？（そぐわない課題？）	地域課題への対応を、地域コミュニティ組織が主体的に取り組むことは重要です。したがって、ご指摘の内容は地域コミュニティの取組みとして不向きではありません。
7	コミュニティビジョン中の将来像について、内容が従来からの区活動と重複する部分が多く見受けられる（ように見える）。区役員とコミュニティ人員が重複する原因にもなるかと感じた。地区ごとに整理をして、区とコミュニティを同一視させない工夫も必要と感じた。	ご意見のとおりです。
8	将来像は10年後の理想と捉え考えられるか。事業と事業計画については、5年ごとくらいに見直したいと思いますが・・・。	事業計画（地域づくり計画）は適宜見直していただいて構いません。
9	将来像ややるべきことはよく理解できるが、現状では各区単位の団体やグループの活動の域を出た活動が大変難しい面があり、全体（地区）で同じ方向をめざしたものが見つからない。人口減が進むなかで役員のなり手不足が深刻である。	ご意見については、市としても認識しています。それを補う仕組みが地域コミュニティであり、市も継続的に支援していきます。

10	めざすべき将来像の基本方針にもある「定住人口を保つ」に関しては、コミュニティだけでは無理です。ビジョンの中にもある市との協働が必ず必要だと思います。わかりやすいビジョンだと思いますが実際は難しいと考えていました。作野先生のすべてを実現しなくてもよいという言葉に、少し肩の荷が下りた気分です。	
11	コミュニティ組織ごとの現状と課題に差異が大きすぎて、市でまとめたビジョンはピンと来ない。目標とする将来像がイメージできない。区長会との違いはいまだにわからない。	地域コミュニティの持続的な活動につなげるためには、計画段階から地区住民が主体的に取組み、つくり上げていくことが重要です。市では全市的なビジョンとして策定しましたが、各地区の実情にあった部分を参考にしてください。
12	ビジョンは素晴らしいが、方向性を示して行政は終わりではなく、それぞれのコミュニティのビジョン策定に地域ごとの素案を示すべきではないのか？	
13	(地域コミュニティごとに) 地域格差が大きい。もっと規模に応じたビジョンを。	
14	ビジョン策定の意義は理解するが、地域の実情を見た時、策定はしたいが厳しい気がする。	本ビジョンの内容で各地区の実情にあったものを参考にし、取組みやすいことから始めてください。市も継続的に支援していきます。
15	方向性はよくわかるが、各地区の特性もあり、なかなか理想通りには進まない。人・物・資金等も乏しく、先細りが気になる。	
16	基本的には理解できるが、地域コミュニティで(検討を)行うまでに各行政区で共有される状況ができる必要があるのでは。	出前講座を活用してください。
17	既にコミュニティを創設して5年目に入るが、地区別に問題点とビジョンを行政担当と意見交換を行いたい。	ご要望に応じて、意見交換の機会を持たせていただきます。
18	内容的にはめざすところは同じだと思うが、いかに自分の地域にアレンジしていくかが大事だと思う。ただ行政側もどの様にアレンジされているか把握されるべきだと思うし、空家など豊岡市全体的な話、福祉見守り活動などコミュニティでの話など専門的な職員の配置も大事かと思う。	個々に専門的な職員を配置すること困難ですが、市役所各課の横断的な体制構築や、社会福祉協議会等とも連携していきます。

19	<p>支援のあり方が多岐にあることは良いとは思いますが、市として責任をもって当該地域のコミュニティを支援していくのは何処（誰）なのでしょう。図表 4-3 のアドバイザー会議や中間支援組織などは、市として支援していくための一つのツールであるという捉え方にならないでしょうか。コミュニティがうまくいかない原因の一つが、このことにあるかと感じます。</p> <p>また、全市職員が地域コミュニティを推進してゆくことがこれからの豊岡には必要不可欠であることの認識が感じられません。（何ごととも縦割りのように感じられます。）</p>	<p>豊岡地域はコミュニティ政策課が、他の地域は各振興局が支援を行っています。</p> <p>また、支援体制のあり方について、地域づくりの専門性やきめ細やかな地区の運営状況の把握・その対処を行うためには、（仮称）地域づくりアドバイザー会議や中間支援組織など多様な角度からの支援も必要と考えます。全市職員に地域コミュニティの必要性が認識されるよう協働研修の実施や、縦割りの弊害を減らすための市役所各課の横断的な体制構築も検討しています。</p>
20	<p>求められる地域コミュニティ像（めざす将来像）は、あくまで市として望ましいと考えている理念や方針であるということをもっと分かるような表現の記載があれば。（地域づくり計画は、必ずしも市の意向にそうように策定する必要はないと理解しています。）</p>	<p>ご意見の内容については、ビジョンに記載していますが、今後も理解を深めるために、改めて地区説明会等で説明していきます。</p>
21	<p>10年間のビジョンであるなら、10年間の財政支援を明確かつ具体的に示していただけるとありがたい。地域づくり計画を策定しても実現不可能に陥る可能性があります。何よりこれからのコミュニティ運営の見通しがたたないのではないのでしょうか。</p>	<p>10年間の財政支援計画を明確に示すことはできませんが、地域コミュニティの基礎的活動部分の財政支援は今後も継続していく方針です。</p>
22	<p>第2段階の組織づくりが終わり、活動始めてほっとしているところ、コミュニティビジョン説明のため、スピードが速すぎて当惑しています。我々の組織はボランティア組織なので、扱いが難しいことがあります。</p>	<p>本ビジョンは、地域づくり計画策定の指針となるよう策定しました。地域の実情に見合った活動の参考として活用ください。</p>
23	<p>P.31⑤「計画性のある取組み」について、計画のための計画づくりで止まっている。計画実施の結果を求められるのが性急すぎる。</p>	
24	<p>P.37～ 基本方針をこのように市として示すことは、大変良いと考えます。</p>	

25	<p>P. 51 (1)-②、「地域コミュニティ組織と行政区との関係」の「行政がやること」において、コミュニティが事務処理や事業展開する上での行政手続き等、市のバックアップ体制を整えること。“タテ割り行政”の弊害をなくし、全職員がコミュニティ能力をアップするという記述がある方がいいと思います。</p> <p>(P. 52 (2)-①も同様)</p>	<p>該当箇所に「地域コミュニティ組織の事業展開に対し、各課横断的な支援実施」「全職員がコミュニティ能力をアップする」という記述を追加します。</p>
26	<p>地区の防災・福祉の活動にコミュニティ組織が行政と行政区の中間位置に入り込むと、直に対応が求められる時に行政と区の緻密な連携が損なわれる恐れが出てくるのではないか。</p>	<p>地域の実情に応じて、行政区でできないことを地域コミュニティで補完できるような関係づくりが重要です。</p>
27	<p>「自助、共助、公助」が云われる中、「共助」をコミュニティ組織に委ねることに見え、行政の責任放棄とも見えてくる。</p>	<p>共助は行政と住民、または住民同士等の助け合いを示す概念であり、一方だけに責任を押し付けるものではありません。</p>